

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		作業療法概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期 水2	教室名	402号室
担 当 教 員		石橋 康信	実務経験とその関連資格	作業療法士として身体障害領域・老年期障害領域・精神障害領域で対象者に対して作業療法を実践する。			
《授業科目における学習内容》							
系統的な作業療法を構築できるよう、作業療法の過程について必要な知識を修得し、職業倫理を高める態度・姿勢の在り方について考える。この科目では具体的に、作業療法の基本的理解及び実践に向けて作業の意味、作業療法の基本プロセスや基盤となる原理、作業・生活・健康・幸福などの関連性について学ぶ。さらに、リハビリテーションと作業療法の哲学・概念・歴史をとおして、作業療法士に必要とされる資質・適正を考え、専門分野別で作業療法の実践について考える。また、チームアプローチの中で期待される作業療法士の役割を考え、専門職としての社会的責任を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
期末試験筆記試験95%、平常点(態度・準備)5%で評定する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
・15レクチャーシリーズ 作業療法テキスト 作業療法概論(中山書店) ・作業療法技術ガイド〔第4版〕(文光堂) ・入学前から学べる作業療法士のための作業療法の基礎知識 (滋慶出版)							
《授業外における学習方法》							
授業時間内に終わらなかったグループワーク課題は宿題となる。 基本的に次の通り。学習は予習よりも復習をしっかりと行い、不明点がないようにしていくこと。 事前学習：事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分) 事後学習：配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)							
《履修に当たっての留意点》							
・ 予めテキストを読んでおくことが望ましいが、それよりも十分な復習を行うことが重要である。 ・ グループワークを通して、自己理解と他者理解を深めながら、自己学習、他者との協調、知識の整理・共有について学ぶ。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションとは何かを理解し説明することができる。		教科書 配布資料	【事前学習】シラバスを読んでおく。(20分)	
		各コマにおける授業予定	国内外のリハビリテーションの歴史を理解する。 リハビリテーションの分類を理解する。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法における作業の概念について説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
		各コマにおける授業予定	社会通念や作業の治療的意味、作業分析について学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法の歴史について説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
		各コマにおける授業予定	作業療法と作業 世界における作業療法の歴史的変遷を学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	日本の作業療法の歴史を説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
		各コマにおける授業予定	日本の作業療法歴史、目的 作業療法養成校設立から作業療法学の変遷、概念を学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	ICFの概念について説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
		各コマにおける授業予定	ICFの概念 ICIDHから学び、生活機能と構造を演習して学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ICFの使い方(対象者の情報整理)を説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)
		各コマにおける授業予定	インフォームドコンセント、ICF インフォームドコンセントとICFについて考える。		【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害の作業療法について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	身体障害の作業療法について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。10分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		【事後学習】グループワーク課題を進める。(50分)
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発達障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発達障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。10分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		【事後学習】グループワーク課題を進める。(50分)
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	地域の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	地域の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	統括	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。
		各コマにおける授業予定	作業療法について全般的に確認する。		【事後学習】期末試験に向けた総復習を行う。(60分)